

## 積立定期預金規定

積立定期預金（以下「この預金」といいます。）は、預金共通規定および次の規定により取扱いします。

当行は、お客さまから当行所定のこの預金の申込書の提出を受け、当行がこれを承諾したときに、この預金に係る契約が成立するものとします。

### 1（預入れの期限等）

- （1）この預金は、通帳記載の満期日の3か月前までは自由に預入れができます。
- （2）この預金の預入れは1回千円以上とします。預入れのときは必ずこの通帳を持参してください。
- （3）この預金は、当店のほか当行本支店のどこの店舗でも預入れができます。

### 2（預金の支払時期）

この預金は、満期日以後に利息とともに支払います。

### 3（証券類の受入れ）

- （1）小切手その他の証券類を受入れたときは、その証券類が決済された日を預入日とします。
- （2）受入れた証券類が不渡りとなったときは預金になりません。不渡りとなった証券類は、この通帳の当該受入れの記載を取消したうえ、当店で返却します。

### 4（利 息）

- （1）この預金の利息は、預入金額ごとにその預入日から満期日の前日までの日数について、預入日現在におけるその期間に応じた当行所定の自由金利型定期預金（M型）利率によって計算します。ただし、契約期間が3年以上の場合には、満期日からさかのぼって2年ごとに利息計算日を定め、その計算日において預入日または前回の利息計算日からの期間が1年以上ある預入金額については、預入日または前回の利息計算日におけるその期間に応じた当行所定の自由金利型定期預金（M型）利率によって利息を計算のうえ元金に組入れます。

利率は、当行所定の日に変更します。この場合、新利率は、変更日以後に預入れられる金額についてはその預入日（すでに預入れられている金額については変更日以後の利息計算日）から適用します。

- （2）この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算します。
- （3）当行がお客さまからの解約請求に応じる場合、当行が債権回収のためにこの預金を解約する場合、別途定める「反社会的勢力との取引排除規定」により解約する場合など、やむをえないものと認めてこの預金を満期日前に解約する場合、その利息は、預入金額ごとに預入日（利息を元金に組入れたときは最後の利息計算日）から解約日の前日までの日数について次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。ただし、解約日における普通預金の利率を下回るときは、解約日における普通預金の利率とします。）によって計算し、この預金とともに支払います。

- ① 6か月未満 解約日における普通預金の利率
- ② 6か月以上1年未満 上記（1）の適用利率×50%
- ③ 1年以上3年未満 上記（1）の適用利率×70%

- （4）この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

### 5（預金の解約、書替継続）

- （1）この預金を解約または書替継続するときは、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して、この証書とともに提出してください。

(2) 債権保全の必要があるとき、その他当行が満期日前の解約を拒絶すべき事由があると認めたときは、この預金は満期日前に解約できません。

以 上  
(2020.4.1)